

介護と介護事業を守り、よくする！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

天晴れ介護サービス式法定研修 認知症ケア BPSD対応の考え方と具体策（後編）

■介護と介護事業を守り、よくするために

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

50

本日の内容（※ChatGPT参照）

介護現場で認知症について学ぶ意義は、単なる知識習得にとどまらず、利用者の尊厳を守りながら、よりよいケアを実現することにあります

- ・適切な対応ができ、利用者の不安を和らげる
- ・介護者自身の負担やストレスを軽減できる
- ・認知症の進行を遅らせる支援ができる
- ・家族やチームと連携し、質の高いケアを提供できる
- ・認知症の人が「その人らしく生きる」サポートができる

本人・家族・介護者すべてにとって、より良い結果をもたらすためにも、認知症について知識を得ること、よりよいケアを学ぶことが大切です

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

51

講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣アカデミー協会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

52

本日の内容

■前編

- ・BPSD（拒否について）
ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

- ・BPSD（拒否について）
口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）
- ・BPSD（リスクについて）
徘徊／帰宅願望

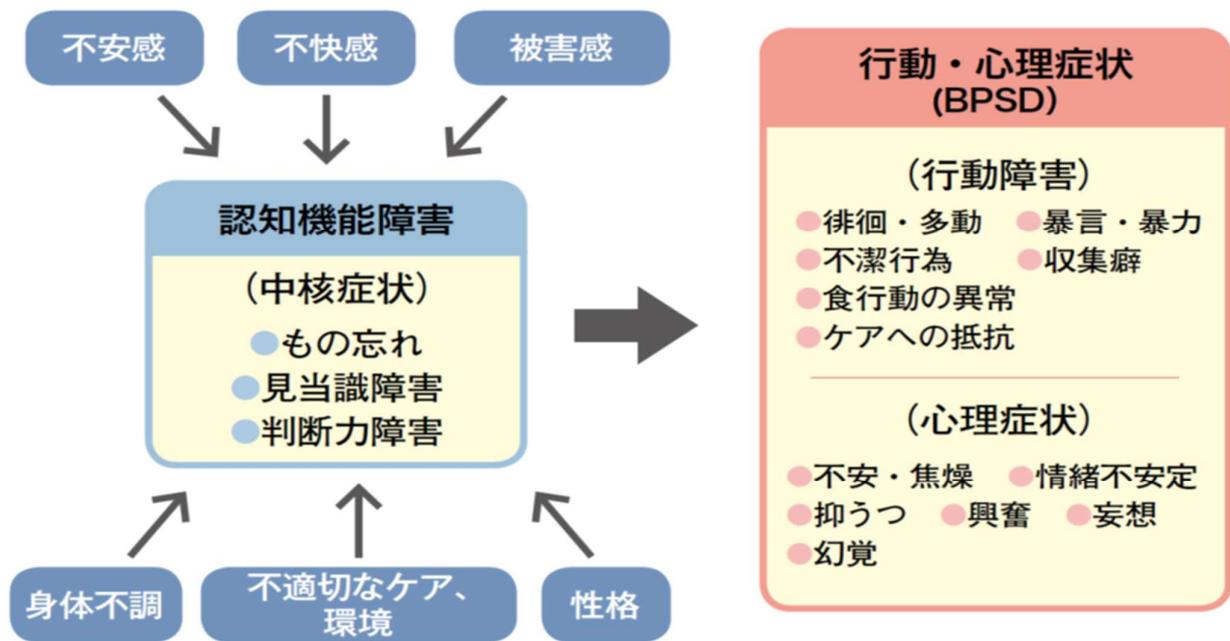
■後編

- ・BPSD（リスクについて）
暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む
- ・認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

53

中核症状とBPSDの関係



加藤伸司：認知症の人の視点からとらえるBPSD（老年精神医学雑誌）に著者改変

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

54

暴力がある

●思うようにならないことがあったり、イライラが募って発散できないとき、何をされるかわからず怖いときなどに暴力が出てしまう状態。

予測されるリスク

- 本人、介護者がケガをしてしまう。
- スタッフによる暴言、暴力、介護放棄などの虐待を引き起こす要因になる。
- 介護者のストレスが高まり、在宅生活の継続が難しくなる。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

55

ケア内容	根拠・留意点
イライラの原因を探る	●今いる場所、担当のスタッフ、日々の日課、食事の内容、生活のリズムなどをすべて見直せば、イライラの原因が見つかる可能性もある
本人が好む気分転換の方法を図ったり、静かな環境をつくる	●本人の好みをよく把握しておく必要がある。原因が不明、もしくは除去が難しい場合には、気分転換を図ることが有効な場合が多い
危険なもの（ナイフ・はさみ等の刃物）が周りにないか確認	●本人、周囲の人の安全を守るためにも気を配る。杖などが危険なこともある
スタッフは興奮せずに、まず怒っている内容に耳を傾ける	●介護者まで興奮すると、余計に激しくなる場合がある。何に怒っているのかをゆっくり聞く
少し間をおいてから穏やかに接する	●怒っているときは興奮が強いため話ができないこともある。少し様子を見るために時間を置いて関わるのも有効
日常生活に支障がある場合には、医師に相談する	●医師に相談する必要がある場合もある
脱水、便秘、慢性疾患の悪化などの予防	●認知症がある人は、体調の変化を自ら伝えることが難しいため、周囲の人が気づく必要がある
相性の悪い家族や利用者ではなく、比較的関係のよい家族やほかの利用者と過ごすようにする	●人間関係は相性の問題でもあるため、相性の悪い人とは無理をせず、よい関係を結べそうな人と過ごせるようにする
本人の生活史を尋ねる	●信頼関係が築ければ、本人も落ち着き、不安な気持ちを暴力で現わすことも減ってくる。そのためには「好きな俳優は誰ですか？」「どんなお仕事をされていたんですか？」など、その人の今まで歩んできた人生の断片を少しずつ知る努力も

怒りだすことが多くなった

●認知症などの障害のため、日常的に思い通りにならないことが多く、従来の性格に反して怒りっぽくなっている状態。

予測されるリスク

- 本人のストレスが強くなり、BPSDが悪化する。
- 家族のストレスが強くなり、在宅介護が継続できなくなる。
- 周囲の利用者との関係が悪化する。

ケア内容	根拠・留意点
本人が好む 気分転換 を図ったり、 静かな環境 をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の好みをよく把握しておく ●原因が不明、もしくは除去が難しい場合には、気分転換を図ることが有効な場合が多い
危険なもの （ナイフ・はさみなどの刃物）が周りにないか、十分に確認する	●本人、周囲の人の安全を守るためにも気を配る。杖なども危険なことがある
スタッフは興奮せず 、まず怒っている利用者の話す内容に耳を傾ける	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフが興奮すると、利用者の怒りがより激しくなる場合がある。何に怒っているのかをゆっくり聞くようにする ●思うようにならないいらいだちをスタッフが理解することも重要
少し 間をおいてから 穏やかに接する	●怒っているそのときは興奮が強いため話ができないこともある。少し時間を置いて様子を見てから関わるのも有効
あまりに激しく、日常生活に支障がある場合には、 医師に相談 する	●うつ病などの可能性もあるため、医師に相談する必要がある場合もある
脱水、便秘、慢性疾患の悪化 などの予防	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症がある人は、体調の変化を自ら伝えることが難しい ●便秘などの体調不良から怒りっぽくなることもある。周囲の人が気づく必要がある

異食がある

●食べられないものを口に入れたり、食べてしまう状態。原因としては、食べ物とそうでないものとの区別がつかなくなったり、食欲中枢が障害され食欲の抑えが効かなかったり、味覚障害などがある。また、寂しさや欲求不満の代償行為として現れることもある。

予測されるリスク

- 危険なものを口にすることによる健康状態の悪化。
- 家族のストレスが強くなり、在宅介護が継続できなくなる。
- 家族から注意されるなどして、本人のストレスがより強くなる。

ケア内容	根拠・留意点
<p>口寂しい気持ちが強く見える場合は、何か食べられるものに変えたり、スキンシップを図って気がまぎれるようにする</p>	<p>●何かを口にするという事は、落ち着くための行動とも考えられる（子どもの指しゃぶりなど）。単に禁止するだけでは、一層異食が激しくなることがある</p>
<p>ふだんから危険なものは手の届くところには置かず、ごみ箱はフタをしておく。日常から整理整頓を行う</p>	<p>●薬や洗剤類などの命に危険があるものは手にとることができないようにしておく ●目の前の危険回避を行いながら、本質的な解決も考える</p>
<p>「こちらのほうがおいしいですよ」などと別の食べ物を用意し、口の中にある異物を取り除く</p>	<p>●無理やり取り上げると暴言・暴力等につながり、また人間関係も悪くするため、他の食べ物を用意することが効果的 ●お菓子や薬を包装紙ごと口に入れてしまう場合があるので、必要なときに取り出して手渡すようにする</p>
<p>生命に危険があるもの（薬品・電池・タバコ・洗剤類など）を食べてしまった場合は、各製品に書いてある応急処置（吐かせる・水を飲ませて薄めるなど）をしてから、直ちに医師による処置を受けてもらう</p>	<p>●何を食べてしまったかを観察することが大切。場合によっては救急車を要請することも必要。具体的な応急処置の対処法を貼っておくとよい</p>
<p>手もちぶさたにしない</p>	<p>●やることがなかったり、わからないと不安になりがちである。何かやることがあると安心感をもつことができ、根本的な解決につながることもある</p>

火気の管理ができない

●脳卒中によるマヒ、パーキンソン病などにより動作が困難になった、または認知症による判断力の低下などから火気の管理ができなくなった状態。

予測されるリスク

- 火の不始末で火事になる。
- 小規模な火の不始末で、ケガ（やけど）を負う。
- 火事を起こす心配から、近隣との関係が悪化し、自宅での生活が難しくなる。

ケア内容	根拠・留意点
動作が難しい場合 扱いやすいガスレンジなどを用意する。付き添って介助する	●片マヒのある人なども扱いやすいようなガスレンジなどを工夫する ●付き添ってできないところを手助けする
判断力の低下で難しい場合 IHの使用法を 番号 を振るなどして掲示する	●認知症が原因で火の不始末が起きる場合には、早い段階でIHコンロに切り替えて、無理なく使用できるよう説明や指示を行い、一人でも扱えるようにする
判断力の低下で難しい場合 付き添って 見守り、声かけを行う	●掲示で難しい場合には、付き添ったり、一つひとつの工程を声かけして示すようにする
火の使用、調理などを 代行 する	●一緒に行うことが難しい場合には、代行することを考える
火を使わなくてもいいメニュー を考える	●「調理パン、パック入り牛乳、野菜をちぎっただけのサラダ、みかん」というように、加熱の必要がない献立のレパートリーを増やす
電子レンジ を活用する	●レンジで加熱するだけで食べられる1人分の惣菜がたくさん出ている。すべてがレトルトでは味気ないが、おかずに適宜取り入れることで、調理の負担や危険を減らすことができる
火を使わなくてもよい 役割 を検討する	●調理する役割が果たせないことで不安が募る場合もあるため、調理以外の役割を担ってもらうようにする

火気の不始末について

! **ポイント**

火事を出さないための小さな工夫



IHレンジの活用



火災報知器、ガス警報器の使用



センサーなど、安全装置のついたコンロを使用



「火使用中」と大きく書いた紙を目につくところに貼る



タイマーや笛吹きケトルを使用



お湯は介護者が沸かして魔法びんに入れておく

ものを盗む

●店のものを持ってきたり、他人のものを持って帰る状態。持ってきた行為そのものを忘れてしまっていることもある。

予測されるリスク

- 店や周囲の人との間にトラブルが生じる。
- 家族のストレスが増強して、在宅介護が継続できなくなる。
- 注意されることでストレスがより強くなる。

ケア内容	根拠・留意点
叱ったり問い詰めたりしない	●本人に悪気はないため、叱っても逆効果である。不満の感情のみが残り、より激しい行動になることもある
外出にはできる限り家族や専門職が付き添う	●トラブルが起きないように付き添い、代わりに謝ることも必要。事情を知らない人から見れば窃盗なので、介護者は事情を説明して謝る
近所の人やなじみの店には、事前に事情を話しておく	●連絡先なども渡しておき、トラブルが深刻化しないようにする ●なじみの店の場合は、あらかじめお金を渡しておいたり、持っていったものをあとからまとめて請求してもらうなどの協力を依頼する
高額商品であれば返品することも検討する	●店の人との日頃からの関係性が重要になるが、返品が可能であるかどうかについては相談の余地はあると考える



● 中核症状

- つい先ほどのことを忘れる 126
- 時間・場所・人がわからない 128
- 予定を忘れてしまう 130
- 何を言っているのかわからない 132
- 生活習慣が継続できなくなった 134
- 何度も同じ話をする 136

● 食事

- 献立をたてることができない 138
- 買い物ができない 140
- 調理ができない 142
- 後片付けができない 144
- 多く食べ過ぎる 146
- 水分摂取量が少ない 148
- 食べてくれない、拒否 150
- 食べたことを忘れる 152
- 一人で食べられない、遊んでしまう 154



● 口腔ケア

- 本人が行うが不十分 156
- 口腔ケアを拒否する 158

● 排泄

- トイレ以外で放尿する 160
- 頻回にトイレに行く 162
- オムツを外す 164
- 尿意・便意がはっきりしない 166
- 排泄後の後始末ができない 168
- 尿漏れがある 170
- トイレに移動できない 172
- 排泄ケアを拒否する 174

● 入浴

- お風呂を拒否する 176
- 着脱衣ができない 178
- 洗身・洗髪・洗面ができない 180

● 生活全般

- 火気の管理ができない 182
- 戸締りができない 184
- 掃除ができない 186
- 服の着方が不適切 188
- 洗濯ができない 190
- 大事なものをなくす 192
- 冷暖房の調整ができない 193
- 金銭管理ができない 194
- 体調管理ができなくなった 195

● 社会交流

- 散歩に行けなくなった 196
- 趣味から遠ざかっている 198
- 他者とのトラブル、人間関係の悪化 200

● 心理症状

- 意欲の低下が見られる 202
- 不安が強くなった 204
- 妄想がある 206
- 何度も呼ぶ 208
- 怒りだすことが多くなった 210
- 帰宅願望がある 212
- 死にたいと言う 214

● 行動障害

- 大声を出す 215
- 暴力がある 216
- 介護を拒否する 218
- 徘徊する 220
- 性的逸脱行為がある 222
- 眠れない 223
- 昼夜逆転がある 224
- 不潔行為がある 226
- 異食がある 228
- 収集癖がある 230
- ものなどを壊す 232
- 独り言がある 234
- 車の運転をやめない 235
- 幻覚がある 236

- サービス利用を拒否する 238
- ものを盗む 240

● 介護者支援

- 介護者が疲れている 242
- 家族の知識・技術が未熟 244
- 老老介護でこの先が不安 246
- 経済的負担が重い 248
- 仕事を続けたい介護者 250
- 本人・親族間で意向が異なる 252
- 介護者がサービスの利用を拒否する 253
- 介護者が虐待している 254

● リスクマネジメント

- 尻もちの危険がある 256
- 皮下出血が多い 258
- ベッドからの転落 260
- 転倒 262
- かきむしる 263
- 点滴を外す 264
- 誤薬 265
- 過剰な向精神薬の投与 266

column 身体拘束の弊害について 268



本日の内容

■ 前編

・ BPSD（拒否について）

ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■ 中編

・ BPSD（拒否について）

口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）

・ BPSD（リスクについて）

徘徊／帰宅願望

■ 後編

・ BPSD（リスクについて）

暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む

・ 認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

68

失敗しても**怒らないで**ほしい

（失敗したくて失敗しているじゃないんです。自分でも情けないと思うときもあるのです）

そばにいて

安心させてほしい

（優しい人がそばにいてくれたらホッとできます）

親しい人と会話を楽しみたい

（好きな話題で楽しい気分になりたい。1日が明るくなります）

わからなくなってしまったことが**多いので教えて**ほしい

（毎日不安でいっぱいなので、さりげなく教えてくれたら安心できます）

急かさないでほしい

（昔のように早くできないんです）



好きなことや**趣味**を楽しみたい

（昔やってたことがいろいろあるなあ……）

昔のように堂々としていたい

（昔はよかったなあ……、昔の姿をあなたにも見せたいです）

私の苦しみをわかってほしい

（認知症のなりたくなってしまったわけではないんです。苦しみを理解してほしい）

認知症のある人の気持ち

認知症ケアを考えると、ついつい家族側・スタッフ側の立場から見えてしまいがちです。認知症の人自身はどう思っているのか？ 想像してみよう。



自分を必要としてくれる**居場所**がほしい

（やることがないと不安です。人の役に立てて、ここにいてもいいと思える場所がほしい）



このいらだちを解消してほしい

（納得できないことがあるといらだちますし、ずっと施設（部屋）の中にもいるのも気が滅入ります。昔のようにいろんなことができなくなった自分にもいらだつんです）

家族や周囲に**迷惑をかけた**くない

（悪気があって迷惑をかけているんじゃないです。1人も気ままにけど、やっぱりみんなとは仲良くしたい）



人から**指示**されたくない

（あなたも年下の人からあれやれ、これやれと言われたら嫌でしょう？）

カレンダーや時計、トイレの場所など、**わかりやすい表示**にしてほしい

（わからないと、とても不安です）



人に**気兼ね**をせずに暮らしたい

（遠慮ばかりして暮らすのは疲れます）

自分のペースに合わせてほしい

（そんなに早く行動できないんです。それに、昔からの私の習慣も大切にしてほしい）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

69

家族の気持ち

家族の気持ちといっても人それぞれですが、よく聞かれる言葉、言葉にしづらいけれど秘めている気持ちなどをまとめました。

- **ねぎらって**もらえるとうれしい
- **家族の都合**を理解してほしい
- **愚痴を聞いて**ほしい
- **一人で悩まなくてもいい**という安心感がほしい



- **経済的に**やっていけるか不安
- **親戚や近所の目**が気になる
- **安心して仕事**をしたい
- **認知症が進まない**ようにしてほしい

- イライラする **自分も嫌**
- **親に恩返し**したい
- できることなら **他人に頼らず**介護したい
- 疲れたので **施設を検討**したい



- 周りに **迷惑を**かけないでほしい
- 今後について **不安が**いっぱい
- 助けてあげたいが **どうすればいいの**かわからない
- **一人で**家に置いておくのが心配

スタッフの姿勢

認知症のある人の気持ち、家族の気持ちを受けて、専門職であるスタッフはどう振る舞うことが求められるのでしょうか。いつも点検する姿勢が必要です。

- 1 **一番困っているのは本人**であることを知ろう
- 2 **家族の気持ち**も理解しよう
- 3 **スタッフも一人で悩まない**ようにしよう
- 4 **スタッフ間で話し合**おう
- 5 **他職種と一緒に考**えよう
- 6 **自分自身の健康**管理にも気を配ろう
- 7 **自分自身の気晴**らしも大切にしよう
- 8 認知症ケアの **専門家としての自**負をもとう
- 9 認知症の症状緩和と進行予防のために **何ができる**か考えよう
- 10 **感情をコントロール**しよう（「性格だから」では仕事は務まらないと考える）
- 11 利用者の **状態変化に**気づけるようになろう
- 12 利用者の **生活歴・生活**習慣を知ろう
- 13 利用者の **役割や日課**を大切にしよう
- 14 利用者の **趣味や楽し**みごとを大切にしよう
- 15 認知症について **正確な知識**をもとう



本日の内容

■前編

- ・ BPSD（拒否について）
ケアに対する拒否について／入浴ケア／排泄ケア

■中編

- ・ BPSD（拒否について）
口腔ケア／サービスの利用（主に通所系サービス）
- ・ BPSD（リスクについて）
徘徊／帰宅願望

■後編

- ・ BPSD（リスクについて）
暴力／怒り出すことが多い／異食／火気の不始末／物を盗む
- ・ 認知症の方と家族の気持ち／ケアにあたる職員の姿勢

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

介護現場をよくするライブラリー



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用 受付中!
詳しくはこちら >

日々更新中！公式サイト・SNS



お知らせ お知らせ一覧 >

セミナー
【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！
ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」
【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内 セミナーをもっと見る >

4月16日 (火)
14:00~16:00
管理職養成2024
管理職 リーダー 本部 管理者

4月17日 (水)
14:00~15:30
介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...
会員限定 リーダーズ・プログラム

研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当+α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当+α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当+α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当+α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当+α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

76

こちら是非ご覧くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画+数分のショート動画もあります！
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ
介護と介護事業を守り、よくする！
1000人の仲間たち\(^^\)/
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報+特典動画！
特典動画は…これから用意しますm(__)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

77

天晴れ介護サービス法定研修

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌